

参考

【 概 要 】

平成21年度 民間住宅ローン利用者の実態調査
【フラット35利用者編】（第1回）

1. 調査の概要

調査対象期間(平成21年3月～平成21年6月)に民間住宅ローンを借入した方を対象とし、利用した住宅ローンの金利タイプ別や住宅ローン選びに関する事項について、インターネットによるアンケート調査を実施(7/18～7/22)し、その結果を取りまとめたものである。回答数:134件。

2. 調査結果の主なポイント

(1) 主たる住宅取得理由は、「子供や家族のため」

- ・ 主たる住宅取得理由としては、「子供や家族のため」という理由が最も多く42.5%、「結婚を機に家を持ちたいと思った」が次に多く25.4%。世帯形成期の世代の住宅需要が根強いことがうかがわれる。

これに対して、「現在の住居費が高くてもったいない」は、14.2%と第5位。経済的理由による影響は、限定的なものにとどまった。＜p2＞

(2) フラット35を知るきっかけは、インターネットが第1位

- ・ フラット35を知るきっかけとしては、「インターネット」が33.6%と最も影響が大きい。「住宅情報誌」「新聞記事」「新聞広告」等の各種メディアも影響が大きい。＜p3＞

(3) フラット35選択の決め手は、「将来の返済額を確定」

- ・ フラット35を選んだ決め手は、「将来の返済額をあらかじめ確定しておきたかった」とする長期固定ローンに対するニーズが52.2%と最も多い。＜p5＞

フラット35を選んだ決め手は、「将来の返済額をあらかじめ確定しておきたかった」とする長期固定ローンに対するニーズが第1位である。

第2位の理由としてあげられた「金利が低いこと」は、他の金利タイプの住宅ローン商品と比べ、全期間固定型の金利は高めの設定となっているが、全期間固定型の住宅ローン商品の中で相対的に低い金利のフラット35が選択されたものとみることができる。